

フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型） （愛称：フードテック）

2021年9月末のポートフォリオについて

2021年10月12日

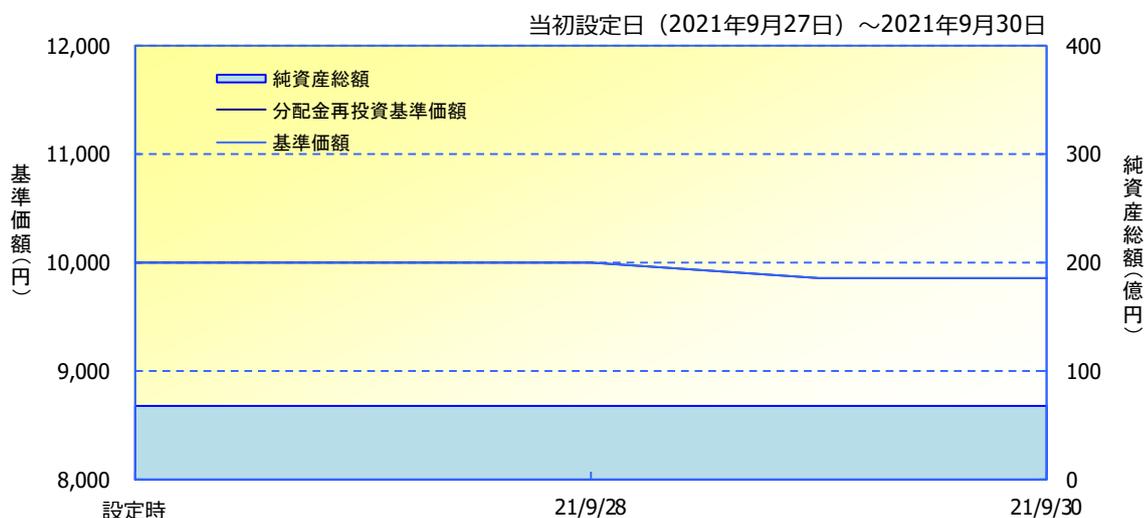
平素は「フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）（愛称：フードテック）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの2021年9月末のポートフォリオについて、お知らせいたします。

■ 基準価額・純資産の推移

2021年9月30日現在

基準価額	9,843 円
純資産総額	67億円



- ※ 「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※ 基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
- ※ 過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当ファンドの運用状況（2021年9月末時点）

資産別構成			通貨別構成 合計100.0%		サブテーマ別構成 合計96.5%	
資産	銘柄数	比率	通貨	比率	国・地域名	比率
外国株式	20	96.5%	米ドル	56.7%	農業・畜産テック	26.7%
			ユーロ	9.7%	食品加工イノベーション	23.5%
			スイス・フラン	8.7%	オンライン飲食テック	46.3%
			インド・ルピー	7.9%		
コール・ローン、その他		3.5%	英ポンド	6.7%		
合計	20	100.0%	ノルウェー・クローネ	4.6%		
			香港ドル	4.3%		
			日本円	1.4%		
			オフショア人民元	0.0%		

国・地域別構成 合計96.5%		株式業種別構成 合計96.5%	
国・地域名	比率	業種名	比率
アメリカ	47.6%	一般消費財・サービス	43.6%
スイス	8.7%	素材	18.3%
中国	8.1%	資本財・サービス	14.4%
インド	7.1%	ヘルスケア	11.0%
イギリス	6.7%	情報技術	9.3%
オランダ	5.5%		
ノルウェー	4.6%		
ドイツ	4.2%		
カナダ	4.1%		

※ サブテーマは、大和アセットマネジメントの分類によるものです。

組入上位10銘柄 合計57.7%			
銘柄名	業種名	国・地域名	比率
JUBILANT FOODWORKS LTD	一般消費財・サービス	インド	7.1%
ZOETIS INC	ヘルスケア	アメリカ	6.9%
TRIMBLE INC	情報技術	アメリカ	6.6%
DOMINO'S PIZZA INC	一般消費財・サービス	アメリカ	6.6%
KONINKLIJKE DSM NV	素材	オランダ	5.5%
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	一般消費財・サービス	アメリカ	5.4%
DOORDASH INC - A	一般消費財・サービス	アメリカ	5.2%
DEERE & CO	資本財・サービス	アメリカ	5.1%
MIDDLEBY CORP	資本財・サービス	アメリカ	4.7%
TOMRA SYSTEMS ASA	資本財・サービス	ノルウェー	4.6%

- ※ 比率は、純資産総額に対するものです。
- ※ 上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。
- ※ 業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準（GICS）によるものです。
- ※ 外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

当ファンドの組入上位10銘柄のフードテック関連事業運用状況（2021年9月末時点）

	銘柄名	国・地域	サブテーマ	関連事業	組入比率
1	ジュビラント・フードワークス	インド	オンライン飲食テック	ドミノ・ピザ/ オンラインオーダー	7.1%
2	ゾエティス	アメリカ	農業・畜産テック	動物用医薬品	6.9%
3	トリンプル	アメリカ	農業・畜産テック	農場データ管理 ソフトウェア	6.6%
4	ドミノ・ピザ	アメリカ	オンライン飲食テック	ピザ/ デリバリー	6.6%
5	コーニンクレッカDSM	オランダ	食品加工 イノベーション	機能性食品素材	5.5%
6	チポトレ・アメリカン・グリル	アメリカ	オンライン飲食テック	メキシコ料理/ オンラインオーダー	5.4%
7	ドアダッシュ	アメリカ	オンライン飲食テック	フードデリバリー	5.2%
8	ディア	アメリカ	農業・畜産テック	自動制御農業機器	5.1%
9	ミドルビー	アメリカ	食品加工 イノベーション	調理自動化機器	4.7%
10	トムラ・システムズ	ノルウェー	食品加工 イノベーション	食品機械/ 飲料容器回収機器	4.6%

ジュビラント・フードワークス



サブテーマ
オンライン飲食テック



関連事業

ドミノ・ピザ/
オンラインオーダー

時価
総額

約8,000億円

売上高

約500億円

*時価総額：9月末時点、売上高2020年度、1インド・ルピー=1.5円換算。

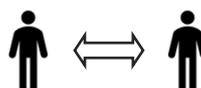
インドで「ドミノ・ピザ」や「ダンキン・ドーナツ」などを展開。同社のモバイルオーダーアプリは2021年6月末時点で累計6,400万ダウンロードを達成。コロナ禍における持ち帰りやデリバリー需要の高まりに対応。

今後もアプリの改善による利便性の向上や、店舗数の増加、ビリヤニ（インドの混ぜご飯）など新業態の拡大により、同社の業績拡大が継続する見込み。

「食の課題」を解決するビジネス機会

健康

コロナ禍の
非接触化



健康

多忙化・
共働きの増加



※個別企業の推奨を目的とするものではありません。
(出所) 会社資料等より大和アセットマネジメント作成

ゾエティス



サブテーマ
農業・畜産テック



関連事業 動物用医薬品

コロナウイルス向けワクチンを製造している「ファイザー」のアニマルヘルス部門が、分離独立して設立された企業。家畜の疾病の予測を助けるデジタル技術や診断法、疾病予防に役立つワクチンおよび革新的な治療薬の開発などを通じて、安全で持続可能な食料供給に貢献。

今後も食肉を中心とした食料需要の世界的な増加を背景に、同社の業績拡大が継続する見込み。

時価
総額

約10.1兆円

売上高

約7,300億円

*時価総額：9月末時点、売上高2020年度、1ドル=110円換算。

「食の課題」を解決するビジネス機会

健康

飢餓や栄養失調の
低減



経済

畜産家被害・
食料価格の上昇



トムラ・システムズ



サブテーマ
食品加工イノベーション



関連事業 食品機器/
飲料容器回収機器

ノルウェーを拠点とする食品機械メーカー。センサー技術により異物混入を防ぐ自動選別機、食品廃棄量の削減に貢献する食品工場向け調理加工機器、リサイクル用の飲料缶・ペットボトル自動回収機などを手がける。

今後も食の安全・安心ニーズの高まりや世界的な環境保護政策の推進などを背景に、同社の業績拡大が継続する見込み。

時価
総額

約8,800億円

売上高

約1,300億円

*時価総額：9月末時点、売上高2020年度、1ノルウェー・クローネ=13円換算。

「食の課題」を解決するビジネス機会

健康

食の
安全・安心



環境

気候変動への
対応



経済

フードロス
の削減



※個別企業の推奨を目的とするものではありません。
(出所) 会社資料等より大和アセットマネジメント作成

フードテックを取り巻く環境

世界の食料市場は自動車市場を上回る巨大市場である一方で、食に関する健康・環境・経済問題が生み出す損失額は、巨大な食料市場規模を上回ると言われています。

食に関する問題が生み出す損失額は世界の食料市場規模を上回る



(出所) 大和アセットマネジメント作成

食の問題が深刻な社会課題として認識されるとともに、近年の飛躍的なテクノロジーの進化が相まって、フードとテクノロジーを融合させた「フードテック」が注目を集めています。巨大なテクノロジー企業を中心にさまざまな企業がフードテック分野への投資を積極化させるとともに、既存の食品関連企業も自社製品・サービスへの最新テクノロジーの活用を進めている状況です。各国政府も、国民の健康推進や医療費削減、農家の高齢化対策、地球環境負担の軽減などを目的に、フードテックへの政策支援を強化していく見込みで、フードテック産業の成長余地は大きいと想定されます。

世界で実用化が進むフードテック事業

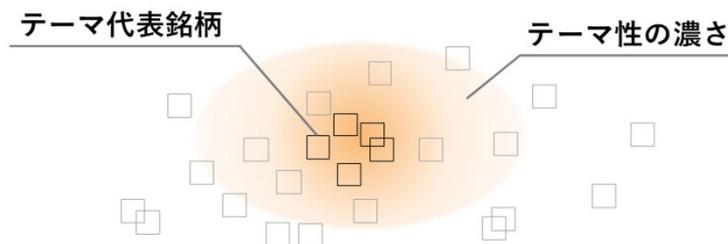
- 農業・畜産テック : AI（人工知能）や高度な位置情報を活用したスマート農業など
- 食品加工イノベーション : ロボットを活用した調理加工の自動化、センサー技術を活用した非接触化など
- オンライン飲食テック : ビッグデータを活用したフードデリバリーなど

(出所) 大和アセットマネジメント作成

当ファンドの運用方針

当ファンドは、日本を含む世界の「フードテック」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。フードテック産業の中心に位置する、テーマ性が濃い、大型のテーマ代表銘柄の中から、将来にわたって強固な競争力をもって業績拡大を継続できると見込まれる企業への厳選投資を行うことで、フードテック産業の構造的な成長が、ファンド自身の成長にダイレクトにつながるよう運用してまいります。

当ファンドの投資対象イメージ



(出所) 大和アセットマネジメント作成

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 日本を含む世界の「フードテック」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日本を含む世界の「フードテック」関連株式に投資します。

(注)「株式」…DR(預託証券)を含みます。

◆フードテックとは・・・

「フードテック (FoodTech)」は、食 (Food) とテクノロジー (Technology) を組み合わせた造語です。食と日々進歩するテクノロジーを融合させ、イノベーションを起こす新たなビジネス領域を意味します。

◆ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。

- テーマに関連すると考えられる企業を投資対象銘柄として選定します。
- 投資対象銘柄の中から、テーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し等を勘案し、10~20銘柄程度を組入銘柄として選定します。
- テーマ銘柄としての代表性や流動性等を考慮し、各銘柄の組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。

2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。



※くわしくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク)」、「集中投資のリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他 (解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書 (交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.408% (税抜 1.28%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）（愛称：フードテック） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第117号	○	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第12号	○	○		
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。